

## 各施策における評価及び意見について①

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施 策	1 - 1 公共施設のマネジメントと新たな魅力の創出
-----	----------------------------

二宮町政策評価委員会としての「評価」

○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		

○ 意見

- 東京大学果樹園跡地の活用については、一部のしか活用していないこと、また情報発信が不足していることが課題である。多くの人の利用につなげるために、どのような施設で、どのように活用できるのかを、実際の利用者の声も含めて積極的に情報発信する必要がある。また、民間のアイデアの活用は有効であるため、幅広い町民から意見を求め、イベントのみならず憩いの空間としての活用などの検討も必要だと考える。
- 公共施設については、再配置、耐震化、新庁舎整備等、災害時の町民ライフラインの根幹であり最優先で推進すべき取り組みである。行政サービスの充実、災害対応、地域活性化等のため、町民理解を得ながら今後も着実に取り組みを進める必要がある。また、公共施設の有効活用においては、様々な社会課題を包括的な取り組みで解決するような視点も踏まえ、持続可能な取り組みへと発展させる必要がある。
- 施策の方向性とKPIとの関連性が分かりづらい。施策をより推進するためには、KPIと達成に必要となる取り組みをしっかりと分析する必要がある。

施 策	1 - 2 地域で支えあう体制の構築
-----	--------------------

二宮町政策評価委員会としての「評価」

○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		

○ 意見

- 地域の通いの場等の高齢者施策については、参加しやすい環境を整えることが重要である。坂や階段といった会場の構造上の問題の解決のみならず、参加の動機づけなども工夫する必要がある。また、年齢問わず多世代間の交流は大切になるため、町の施設を活用した交流イベント等も有効であると考えられる。
- 新型コロナ禍で外出が困難な状況も考えられるため、デジタルデバイドの解消を図りつつ、地域でのオンラインの活用を促進する取り組みについても検討する必要がある。

施 策	1 - 3 地域コミュニティの醸成支援
-----	---------------------

二宮町政策評価委員会としての「評価」

○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		

○ 意見

- 町民活動推進補助金については、HPや広報などで補助金の活用を積極的に情報発信するとともに、手続きに係るハードルの解消や意欲的な活用を促すべく、申請者視点に立った丁寧な説明を行うなど、より一層の活性化を図る必要がある。また、多様な団体・活動が補助金を活用できるよう配慮しつつ、地域の課題解決につながる活動を支援できるよう運用を工夫する必要がある。
- 地域再生事業については、取り組みとKPIの相関関係が見えづらい。関連するデータの収集と詳細な分析を行い、有効な施策を講じる必要がある。また、一色小学校区の取り組みを情報発信し、町内全域でこうした取り組みを促進していくことが重要である。

## 各施策における評価及び意見について②

基本目標	新しい人の流れを生む魅力あるまちをつくる
------	----------------------

施 策	2-1 二宮らしい魅力の創出と発信			
二宮町政策評価委員会としての「評価」				
○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
○ 意見				
<p>●にのみやLifeプロモーション事業については、コロナ禍で移住への関心が高まる中、オンライン相談やWebでの情報発信が功を奏しているため、今後も継続する必要がある。また、町の魅力として、「楽しそう、生き生きと感じられる」ことが重要であるため、移住された方の実感、感想を生かすとともに、「二宮の魅力」を検討するようなワークショップなど、幅広く意見を聴取する手法の検討も必要である。さらに、複数の施策を融合させた魅力を、発信するだけでなく、取り組みも関連させるなど、相乗効果で魅力を増進させる柔軟な工夫も考えらえる。</p> <p>●文化振興事業については、町外の利用も多いラディアンを町の魅力として活用するとともに、町内の文化芸術資源を掘り起こし、町民とともに町外に発信していくことで、町のイメージアップや移住促進にもつなげることが重要である。</p> <p>●吾妻山公園については、コロナ禍でも町外からの観光客で賑わっているため、今後も遊具等の施設の充実を図るとともに、観光を起点にして、二宮ブランドやにのみやLifeを知ってもらうきっかけに結び付けられるように、ガイドマップ等の工夫が必要だと考えられる。</p>				

施 策	2-2 特色ある教育活動の推進			
二宮町政策評価委員会としての「評価」				
○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
○ 意見				
<p>●小中一貫教育は、子育て世代を中心に関心が高く、移住者にとっても好条件となることが期待されるため、学校や保護者など関係者の理解を深め、着実に推進すべきである。一方で、小中一貫の特色が分かりづらいことから、町民にとってわかりやすい具体的な教育効果を示すことが重要である。</p> <p>●KPIに「遅行指標」と「先行指標」が混在していることで、施策の進捗が分かりづらいため、小中一貫に対する効果をダイレクトに図ることができるKPIの設定が必要である。</p> <p>●英語教育、ICT教育等については、着実に進んでいると評価できる。教育の質の高さは町の魅力となり、住民の満足度向上や移住促進につながるため、引き続き取り組みを進める必要がある。</p>				

### 各施策における評価及び意見について③

基本目標	出産・子育てを支え、子育てを楽しめる環境をつくる
------	--------------------------

施策	3-1 妊娠から子育てまでの切れ目のない支援
----	------------------------

二宮町政策評価委員会としての「評価」

○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		

○ 意見

- 各相談事業や個別訪問は、にはぐ（子育て世代包括支援センター）や子育てサロン等が活用されており、とても良い環境が整備されている。新型コロナ禍で対面対応等が難しい状況だが、実施方法を工夫しながら切れ目のない支援を継続する必要がある。また、相談内容が複雑化しているため、町民ニーズをしっかりと分析するとともに、対応する関係者のレベル向上、相談窓口の周知徹底などが必要である。
- KPIについては、そもそも達成率が高いものを設定すると、社会情勢の変化に強く左右されることが考えられるため、それらを踏まえた目標値を検討する必要がある。また、ある程度達成しているKPIよりも、本施策の課題解決に向けた取組に必要となるKPIを設定した方が、より効果的に事業を推進できると考える。

施策	3-2 仕事と子育ての両立支援
----	-----------------

二宮町政策評価委員会としての「評価」

○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		

○ 意見

- 安心して働ける時間を確保するためには、町外に働きに行く人が多いという町の特性を考慮した保育環境を整備する必要がある。入所希望が高まる傾向にある中で、安心してサービスを受けることのできるよう、「入所の余裕数」をKPIに設定するなど、受け入れ体制が分かるような工夫が必要である。
- KPIについては、相談受付件数だけでは事業の成果を反映するものではないため、例えば相談後の満足度も併せてKPIに設定するなど、施策の進捗や事業の成果が分かるものを設定する必要がある。

## 各施策における評価及び意見について④

基本目標	地域産業の振興を図り、仕事を生み出しやすい環境をつくる
------	-----------------------------

施 策	4 - 1 地域商工業の活性化			
二宮町政策評価委員会としての「評価」				
○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
○ 意見				
<p>●中小企業支援については、後継者不足の課題に加え、新型コロナの影響による事業継続支援も重要となっている。商工会等と連携して、起業支援、経営支援を継続して実施するとともに、キャッシュレスなどの非接触決済化など、時代の流れに沿った新たなバックアップ体制を検討する必要がある。</p> <p>●二宮ブランドは、認定商品だけでなく、ブランドコンセプトそのものの認知度が低いと感じられるため、情報発信を強く推し進める必要がある。また、駅周辺にサテライトショップのような、誰もが分かりやすく、購入しやすい場所を設置するなどの整備も必要である。</p>				

施 策	4 - 2 地域農林業の活性化			
二宮町政策評価委員会としての「評価」				
○ 評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
○ 意見				
<p>●オリーブについては、近隣自治体と連携し認知度アップを図り、湘南オリーブオイルの地域団体商標登録を目指すなど、地域産業活性化や町の魅力向上につながる象徴的な取り組みを推進していることは評価できる。一方で、生産量が確保できないことで、商品数などが限定的になっていることから、遊休荒廃農地の活用も含めて、生産量の増加を図る必要がある。</p> <p>●特産物の活用については、オリーブと他の特産物を融合させるなど、町の特性に併せ柔軟な商品開発に繋げていくことが重要である。</p> <p>●新規就農者の確保について、就農するための様々なハードルがあるため、農地若しくは家庭菜園を備えた住宅を整備し、農業を始めるきっかけを促すなど、町での農業機運を高めるような取り組みも考えられる。</p>				